

各位

全3ページ

登録速報(2026-020)

2026年1月21日

クミアイ化学工業株式会社

企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

適用拡大登録年月日：2026年1月21日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第23102号

名称：ファンタジスタ顆粒水和剤

2. 変更の内容

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」中、以下を追加し、【変更後】のとおりとする。

- 作物名「キウイフルーツ」に適用病害虫名「果実軟腐病」を追加する。
- 作物名「いちご」の使用方法に「常温煙霧」を追加する。

【変更後】（変更する作物のみ抜粋）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ヒペンカルブを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	すす斑病 灰色かび病 果実軟腐病	4000倍	200～700L/10a				
いちご	炭疽病	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病	2000～3000倍					
		100倍	10L/10a				

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容
(1) 農薬登録申請書第8項中、9)を追加し、以降を繰り下げ、別紙1【変更後】のとおりとする。
- 【追加】
- 9) ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意すること。
①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態とすること。

(2) 農薬登録申請書第9項中、4)を追加し、別紙2【変更後】のとおりとする。

- 【追加】
- 4) 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。

8. 使用上の注意事項

【変更後】

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。
- 2) 敷布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び敷布方法に合わせて調節すること。
- 3) なすに使用する場合、高温条件下で果実に薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
- 4) さやえんどうに使用する場合、高温や多湿条件下では、葉や莢に薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- 5) トマトの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、敷布後十分に換気をおこなうこと。
- 6) スイトピーへの散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- 7) カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用後14日間は入水しないこと。
- 8) 無人航空機で散布する場合は次の注意を守ること。
①散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
④散布薬液の飛散によって自動車の塗装などに被害を与えるおそれがある等、各分野に影響があるので、散布区域の諸物件に十分留意すること。
⑤散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。

9) ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意すること。

- ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態とすること。

10) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかからないようにすること。

11) 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

12) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

9. 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

【変更後】

1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。

2) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

3) 使用の際は不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。

4) 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。

以上